

自転車は人力で動く交通手段であるため、環境負荷が小さく、災害時の移動・輸送にも有効であり、健康増進、交通混雑緩和等にも寄与する乗り物である。このような背景から、自転車活用推進法が議員立法により成立・公布され、平成29年5月に施行された。さらに、自転車の活用について、政府として総合的・計画的に推進するため、自転車活用推進本部が設置され、自転車活用の推進に関する目標や施策等をとりまとめた自転車活用推進計画が立案された。観光を戦略的産業に位置づけている北海道では、自転車を活用した観光「サイクルツーリズム」に力を入れており、スキー等のインターナショナルスポーツに並ぶ観光コンテンツとしての成長が期待されている。

本特集では、「自転車と道路」をテーマとして、はじめに東京工業大学 副学長 環境・社会理工学院 教授 屋井 鉄雄氏に、自転車活用推進計画立案の背景や、今後の自転車利用環境整備における方向性についてお話を伺った。

次に、北海道におけるサイクルツーリズムの推進に向け、平成29～30年度にかけて実施された試行と今後の本格運用に関する方針等について、北海道開発局からご報告いただいた。そして、株式会社ARCH(アーチ)・ヒーロー北海道 代表取締役社長 高橋 幸博氏には、サイクルツーリズム事業をリードする立場から、北海道の可能性についてお話を伺った。さらに、認定NPO法人ポロクル 事務局長 熊谷 美香子氏に、札幌市中心部で事業中のサイクルシェアリングについて、事業の状況、これからの方針などについてお話を伺った。

交通手段とともに観光コンテンツの観点から、道路空間における自転車のあり方を考えるきっかけとなれば幸いである。

巻頭インタビュー

自転車は「マイナスの3K」から「プラスの3K」へ

東京工業大学 副学長 環境・社会理工学院 教授 屋井 鉄雄 氏

レポート

北海道におけるサイクルツーリズムの推進に向けて

国土交通省北海道開発局 建設部 道路計画課

インタビュー

インタビュー1

インバウンド受け入れが鍵となる、サイクルツーリズムの未来

株式会社ARCH(アーチ)・ヒーロー北海道 代表取締役社長

一般社団法人 北海道サイクルツーリズム推進協会 代表理事 高橋 幸博 氏

インタビュー2

ポロクル実証実験から10年 シェアサイクルのこれから

認定NPO法人ポロクル 事務局長 熊谷 美香子 氏

